

# じゅん かん がた 循環型社会について考えよう！

## 循環型社会ってなんだろう？

私たちをとりまく環境にいろいろ困った問題が起きています。2000年には、これらの問題解決のために「循環型社会形成推進基本法」という法律が制定されました。

この法律では、「循環型社会」というのは、[天然にある資源の使用量をへらして、環境にかかる負担を出来るだけ少なくした社会]とされています。こういう社会をつくる方法として、

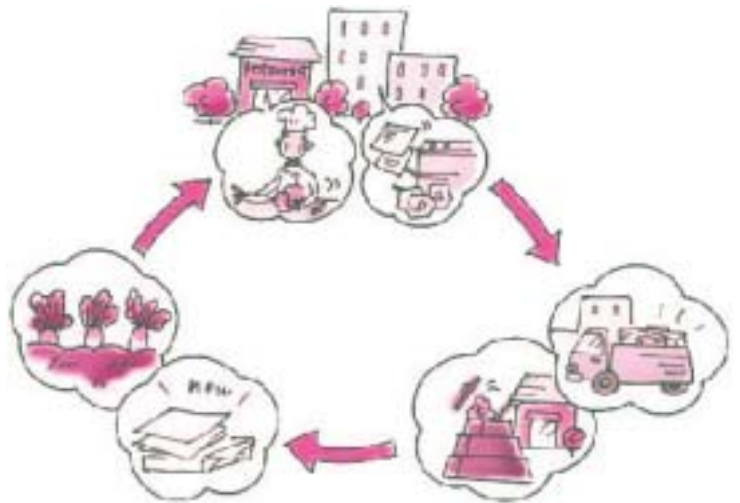
- (1) ごみを出さない
- (2) 出たごみは、できるだけ利用する
- (3) どうしても利用できないごみは、きちんと処分する

ということが提示されています。

人間は、地球の限りある資源をどんどん使って、快適で便利な生活を手に入れてきました。でも、地球上にある大切な資源が、もう残り少なくなっています。それに、資源は、人間のためだけにあるのでもありませんね。資源を無駄にしないためには、くりかえし使えるものは使う。それが限りある資源を大切に使うということ。毎日のちょっとした努力が、循環型社会をめざす第一歩になります。

「大量につくって、大量に使う」この一方通行のシステムを変えなければ、循環型社会は来ないかも・・・？そうだったら大変ですね。

環境をとりまくさまざまな問題の中でも、大きな問題の「ごみ」の現状から、環境問題を考えてみましょう。



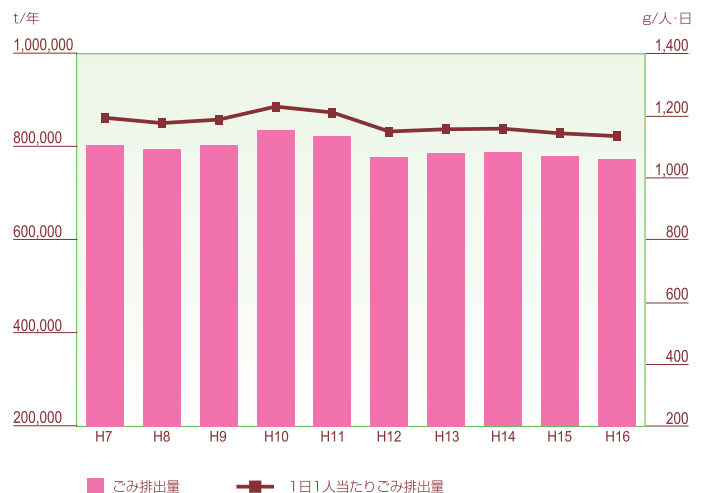
出典：財団法人クリーン・ジャパン・センター ホームページ  
「じゅんかん型社会のこうちくむけて」より



## ごみはどのくらいすてられているの？

三重県では、平成16（2004）年度の1年間で、約77万4千トンのごみがすてられました。1人あたりにすると、1日に1,135gになります。

（H15年度の全国平均は1,106g。三重県は全国平均より多くのごみをだしています。）



（右）ごみの排出量および1人1日当たりのゴミ排出総量の推移  
出典：平成18年度三重県環境白書